

小樽南ロータリークラブ会報



世界に希望を生み出そう

Rotary



2023-2024年度R1第2510地区目標

1. クラブの戦略計画を打ち立て、会員増強を実現しよう
2. ポリオデーに参加しよう
3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
4. オンリーワンチャレンジを見つけよう

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



重点項目

女性会員比率10%達成
ローターアクトの推進
心の健康(メンタルヘルス)づくりを目指す

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12時30分
- 事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123
- Club Homepage：URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

2024年5月17日発行
通巻第3051号

35

今週 5月17日 ● 通常例会

来週 5月24日 ● 通常例会

再来週 5月31日 ● 通常例会
● 小樽商科大学 片桐副学長卓話

見延会員 戦争体験卓話

ロータリーソング【我らの生業】

ゲストビジター紹介

国際ロータリー第2510地区第6グループガバナー補佐
佐藤 慶一様
小樽ロータリークラブ 米山 幸宏様
国際ロータリー第2510地区RYLA委員会委員長
齋藤 朋博様

会長挨拶【三栖会長】



皆さん、こんばんは。本日は佐藤ガバナー補佐様、米山事務局長様の当クラブ最後のご訪問ということで、明かりが見えてきたかのようです。本日より、よろしくお願ひいたします。また、地区RYLA委員会の齋藤さんにもお越しいただきました。私もRYLA委員会にあまり馴染みがないため、少し勉強を兼ねて参加させていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

本日は夜間例会で、通常例会を行います。前回の宏楽園での内容と同様に、通常例会の後に親睦を深めるための懇親会を予定しています。今回は卓話の前にお酒を始めましたが、今回は見延さんに戦争体験についてお話しいただくことになっております。見延さんのお話が終わった後に乾杯となりますので、皆様その点をご了承の上、喉を乾かした状態でお待ちいただければと思います。それでは、今晚もよろしくお願ひいたします。

幹事報告

- ① 例会変更の案内はございません
- ② 先日会員の皆様にメール等でお送りしましたが、5月31日(金)～6月2日(日)にかけて、天狗山おこぼち山荘にて、RYLAセミナー in おたるが開催されます。後ほど、地区RYLA委員長様よりお話しがありますのでよろしくお願ひいたします。なお、参加される方は、申込用紙に記入の上、5月14日(火)までに幹事までお願ひいたします。

ガバナー補佐 佐藤 慶一様挨拶



初めに、先月のIMにおきましては、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、久しぶりとなる通常の形でのIMを盛大に終えることができました。この場をお借りし、改めて厚く御礼を申し上げます。今回のIMフォーラムでは、山谷幹事をはじめとする皆様に、各クラブの実情や具体的な活動内容についてお話いただきました。同じグループに所属していながら、なかなか接点がないため、他のクラブのことを知り、さらに交流を深める機会になることができれば、それこそIMの基本理念でもあるため、そういった場になると考えています。

今年度から私がガバナー補佐という役職をいただき、さまざまな経験をさせていただきました。そして、私自身ロータリアンとしても大変成長することができました。このような貴重な機会をいただき、そして皆様から温かいご支援、ご協力をいただきましたこと心から感謝申し上げます。残りあと2か月半となり、気の緩みがちな部分もありますが、最後までしっかりと役目を果たしてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

また、今年度の貴クラブはガバナー排出年度ということで、皆様本当にお疲れ様でした。あともう少しですので、引き続き頑張ってくださいと思います。

さらに、新会員の宿泊研修会本当にお疲れ様でした。私も参加させていただき、大変ディープな時間を楽しませていただきました。ここで改めてお礼申し上げます。なお、今月末におこぼち山荘にて開催予定のRYLAについてですが、今回は小樽クラブがホストクラブとなりますので、皆様にご参加、ご協力をお願いいたします。また、6月8日には、第6グループ最後の会長幹事会が予定されておりますので、現在の会長および次年度の会長・幹事の皆様は、今からご予約に入れていただきますようよろしくお願いいたします。

■RYLA委員会委員長 齋藤 朋博様



私は2510地区でRYLA委員長を仰せつかって2年目になります齋藤と申します。RYLAというのは、各地域から若者を募り、ロータリアンの推薦のもと、今後各地域でリーダーとなることが期待される若者を集めるプログラムです。この若者たちを2泊3日お預かりし、大自然の中、今回は小樽のおぼち山荘で非日常の時間を体験してもらいます。そこで、様々な出会いや、5人から6人を1グループとしたグループワークを行います。また、西條産業さんのご支援をいただき、ヨットを出していただくことになりました。ロープワークをしたり、セーリングをしたりしながら、若者が非日常の体験を通して、自分の中に眠るリーダーシップに気づく時間を過ごしてもらいます。そして、その地域へ帰った時に、彼らがリーダーとなることを期待してRYLAセミナーを行っています。

一人でも多くの若者に参加して頂きたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

例会プログラム

■見延会員 戦争体験卓話



私は1932年(昭和7年)生まれで、戦争が始まった年は小学校3年生でした。その4年後に終戦しましたが、当時私は小樽中学校に入学し、4月から8月までは戦時中でした。写真は当時の私ですが、国民帽という帽子をかぶり、戦闘服を着て半年間通っていました。当時は配属将校といって、陸軍の少尉が各学校に配置され、軍事教練教育を行っていました。運動場に生徒が集まり「気をつけ」で整列すると、教官が私の前にまっすぐ来て、表紙が固い出席簿で私の頭を叩きました。何で叩かれたのかわからずポカンとしていると、「不動の姿勢は」と言われました。



不動の姿勢とは教練基本の姿勢であり、手をしっかりズボンの先まで伸ばして立っていなければなりません。ところが、私は手を握っていたため、教官は私の頭を叩いたのです。今では典型的なパワハラですが、



戦時中の思い出として、軍需産業や食料生産に学生を動員する学徒動員がありました。私はその中で援農といって、仁木村に配属されリンゴの袋掛けなどの農作業をしていました。朝から晩までリンゴに袋をかけ、みんなで競争しながら無邪気に働いたものです。しかし、その時は食糧事情も悪く、白い飯が食べられませんでした。ここは農家であり、白米のご飯を腹一杯食べられたことは大変な魅力でした。

これは「最後の学徒」という本です。当時、小樽市の馬屋町(今の手宮1丁目から3丁目あたり)に住んでいた田口さんが21歳で徴兵され、石垣島の守備隊に配属されました。その時に捕虜となった米軍を処刑したことが後にBC級戦犯として軍事裁判にかけられ、最後の死刑囚として処刑された方の話です。私は田口さんのことは知りませんでした。弟の守さんと友達が私が勤めていた北海道通運で働いていたため、お兄さんがこういう運命をたどったことをこの本を読んで知りました。人間の運命の儚さを身近な人を通して感じました。

その後、私は妻と一緒に石垣島へ行き、本を見ながら、ここら辺で飛行機が飛んできて、どこで処刑したのかななどを推測し、慰霊碑にお参りもしてきました。戦争の悲惨さ、虚しさ、とにかく命のやり取りですから、殺すか殺されるかです。いったん失った命は戻らないのでやり直しはききません。私は田口さんの本を読んでそう思いました。

こうしたさまざまな経験を通して、私は日本が戦後約80年間戦争を受けずに平和であることのありがたさを感じています。最近の国際情勢を考えると、今の平和憲法の下でいつまで平和を維持できるのか心配です。日本の憲法は「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、戦争はしない、国家が陸海空軍の戦力は持たないし、国の交戦権も認めない」(要約)となっていますが、周囲の国際環境がどうなっているのか。その中で日本の将来について、皆さんにぜひ考えてほしいと思います。

■ガバナー動向

2024年5月11日札幌真駒内RC創立50周年記念式典へ参加しました。



ガバナー 5月行動予定

- 11日 真駒内RC 50周年例会
- 17日 日台親善会議 札幌
- 18日 岩見沢RC 70周年例会
- 19日 RLI研修会 卒業コース
- 20日 札幌北RC 創立53周年例会
- 24日~29日 国際会議 シンガポール